

学舎の庭

八軒東中学校 学校だより

第 2 号

令和8年 7月13日発行

HP アドレス <https://www.hachikenhigashi-j.sapporo-c.ed.jp/>

旅行的行事を終えて

各学年とも5・6月に旅行的行事を終えました。不安定な天候の影響を受けながらも、どの学年も学年スローガンを軸に臨機応変に一生懸命取り組み、本番もとても充実した様子が見られました。各学年今回の行事で得た成果や課題を力に変えて、さらに成長していくことを期待しています。今回は、各学年の旅行的行事での様子をお伝えいたします。

<1学年>

中学校に入学し、初めての大きな行事である野外学習。5月に入ってから本格的に準備が始まり、委員会や係活動など一人一人が自分に与えられた役割をもって活動してきました。小学生との大きな違いは、積極的にプラスされる主体性です。中学生では自分たちで考え、自分達で判断し、自分たちで活動できるようになる力を身に付けることが目標になります。その第一歩となるのが、この野外学習でした。



学級での主な活動は、班で炊事の献立や買い物計画を立てることでした。どの班もさまざまな意見を出し合いながら活動を進めていましたが、直前になってメニューを変更している班や、計画の段階で予算が余り過ぎている班などがあり、慣れていないことに苦労して取り組みながら、少しずつ経験を重ねながら成長していく様子が見られました。

当日はまさかの30度を超える気温の中での炊事活動となってしまいましたが、汗をかきながらも一生懸命に火をおこしている生徒や、慣れない包丁さばきで食材を切っている生徒など、それぞれが自分の役割を果たして頑張っていました。当然、辛すぎるカレーや形のないハンバーグなど多少の失敗やハプニングはありましたが、それも良い思い出になったと思います。熱中症になる生徒がたくさん出てしまうのではないかと心配でしたが、大きく体調を崩す生徒も出ず、最後の片づけまで汗をかきながら頑張っていました。

このように、行事での取組は、学年や学級の団結力を高め、生徒たちを一回りも二回りも大きく成長させる効果があります。これからの行事や2年生や3年生になったときに、最大の目標である主体性をもった活動ができる学年に育つことを、今から楽しみになる行事となりました。

<2学年>

今回の宿泊学習は、「札幌の魅力の再発見」と「北海道の自然を感じる」という2つの柱をもとに活動を行いました。札幌市の魅力を発見するために、1日目には市内の自主研修を行いました。観光都市として栄える札幌に

はどのような魅力があるのか、各班で研修テーマを考え、移動計画を立て、市内を探索しました。「早く到着しすぎて、施設が空いていない」、「満員で予定していたバスに乗れない」などのトラブルもありましたが、無事に研修を終えることができました。その後、道民の森という、都市部を離れ自然の豊かな場所へと活動場所を移しました。乾燥注意報と強風で予定していたキャンプファイアーは実施できませんでしたが、体育館を借り、有志生徒が出演した大演芸大会は大盛況。宿泊学習の思い出の1ページに深く刻まれました。



2日目の自然体験学習では、NPO 法人当別エコロジカルコミュニティーの方々にお世話になり、北海道の森や川について学びました。普段、行くことのない本物の森の中で、都市部では感じることもない自然のすばらしさを身をもって体感することができました。

すべてが計画通りでうまくいった宿泊学習ではありませんでしたが、直接体験で得られた成功も失敗、今後の成長の大きな糧となります。今回の反省を今後の生活、次年度の修学旅行につなげることができるように、また学年一同成長していけるように努力していきたいと思います。

<3学年>

3学年のスローガンは『ガーベラ』です。考案者は3組Iさんです。学年旗のデザイン考案者は2組Tさんです。学年全員が思いやりの心をもち、中学校生活を最後まで楽しもう！という意味が込められています。

6月2日(月)から2泊3日で関東方面へ修学旅行に行ってきました。1日目の夜には学年協主催の学年レクを行い、大いに盛り上がりました。2日目は台風の影響で計画していた鎌倉・横浜の自主研修を実施することができませんでしたが、急遽変更になった日程にも臨機応変に対応し、もともと予定していなかった成田空港での昼食や国立科学博物館の見学、夕方の晴れ間に横浜中華街での散策を楽しむことができました。楽しみに計画していた見学先に行くことができず、残念な気持ちになった人も多かったはずですが、気持ちを切り替えて今を楽しむ姿がとても素敵でした。国会議事堂や日本科学未来館では「もっと見学したかった」という感想も多く、初めての体験に興味をもって活動できていたと思います。

これからに生かしていくべき課題もみつかった修学旅行でしたが、集団の一員としての自覚や責任感をもち、全力で楽しもうとする姿がたくさん見られ、充実した3日間になったと思います。

